

みんな人生の主人公 ～自分史を作ろう～



北海道友愛福祉会

江別盲人養護老人ホーム 恵明園

研究報告



より良い支援のためには

➡ 過去を深く知ることが重要ではないか？

× どのような趣味を持っているのか

○ なぜ、そのような趣味を持つようになったのか

<仮説>

ご利用者様への理解と共感を深め、

心のこもった支援の提供につながる

自分史

生まれてから現在までの人生を短編小説風にまとめる



“ご本人へプレゼントする”

インタビュー方法

- ・聞き取り役は一人とし、居室へ伺いお話を聞く
- ・リズムよくお話しできるように、メモではなくボイスレコーダーを使用
- ・負担を考慮して聞き取りは一時間以内とする
- ・後に聞き取り内容を文章化する

スケジュール

- | | |
|-------|---------------|
| 4月 | 対象のご利用者様の選定 |
| 5～7月 | 聞き取り作業、内容の文章化 |
| 8～11月 | 自分史の作成 |
| 12月 | 自分史をプレゼントする |

ご利用者様の選定

1人目

入居したばかりで適応できていない 83歳女性 A様

2人目

十数年、施設で生活されている 77歳女性 B様

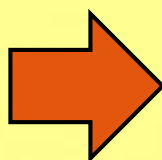
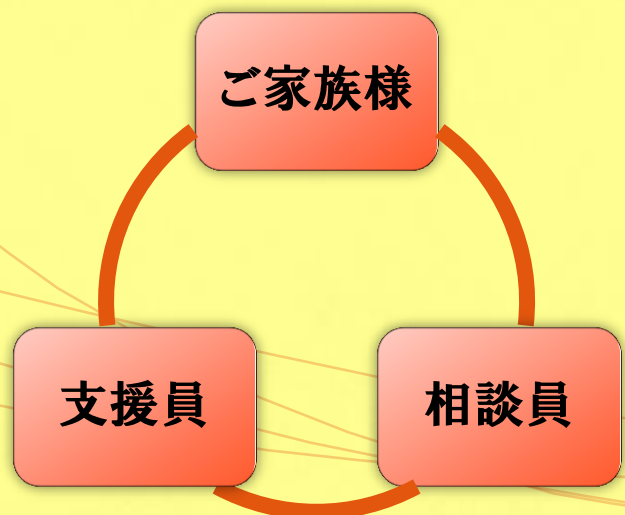
<A様>

平成29年入居

全盲で足腰の痛みがあり、同居の妹様家族より、介護による精神的負担から家庭崩壊の危機との話があり、恵明園へ入居となる。



「自分の家に帰りたい」 「騙されて入れられた」



一丸となりA様との
信頼関係を築く

<B様>

平成15年入居

全盲で持病のメニエール病が悪化し、
独居生活が困難となり施設へ入居となる。

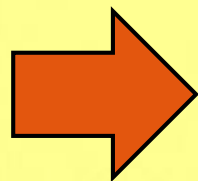


《施設内自立》

《友人との交流》

メニエール病の悪化

脳梗塞の再発



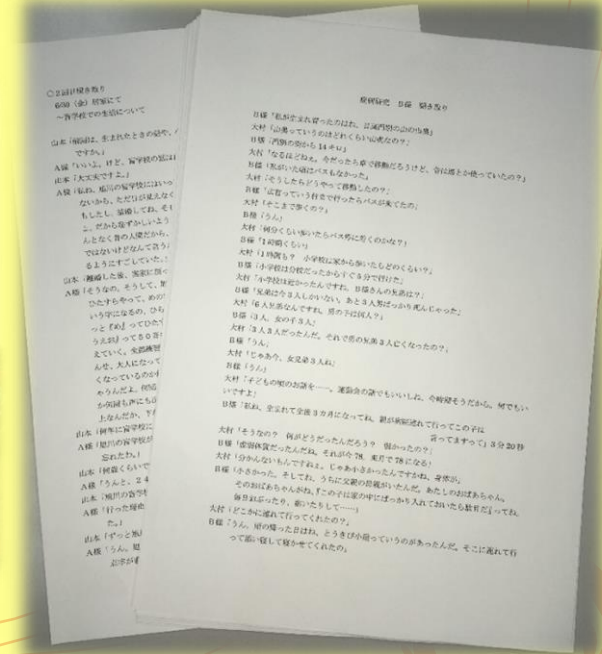
次第に友人と疎遠に...

4月

- ・自分史の意図を説明
- ・それぞれご本人と家族ともに了承いただく

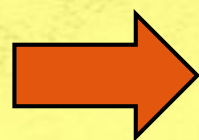
5~7月

- ・聞き取りを行う
- ・内容の文章化



～A様の変化～

「帰りたい」、「騙された」

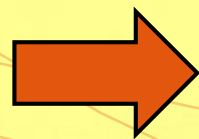


「しっかり聞いてね」と、

穏やかに話す時間が増える

～B様の変化～

「他人と話すことが煩わしい」



「係の人だね」と、

ご自分からお話をするように

しかし・・・

B様が9月に一過性の脳虚血発作のため入院

両者の進捗状況に差が・・・

<A様自分史>

『涙の果てに凜と咲く』

- 第一章 仁宇布(ニューブ)の暮らし
- 第二章 悲しみの底
- 第三章 福寿草の心
- 第四章 再出発
- 第五章 充実の日々
- 終章 恵明園の日々

ご本人様

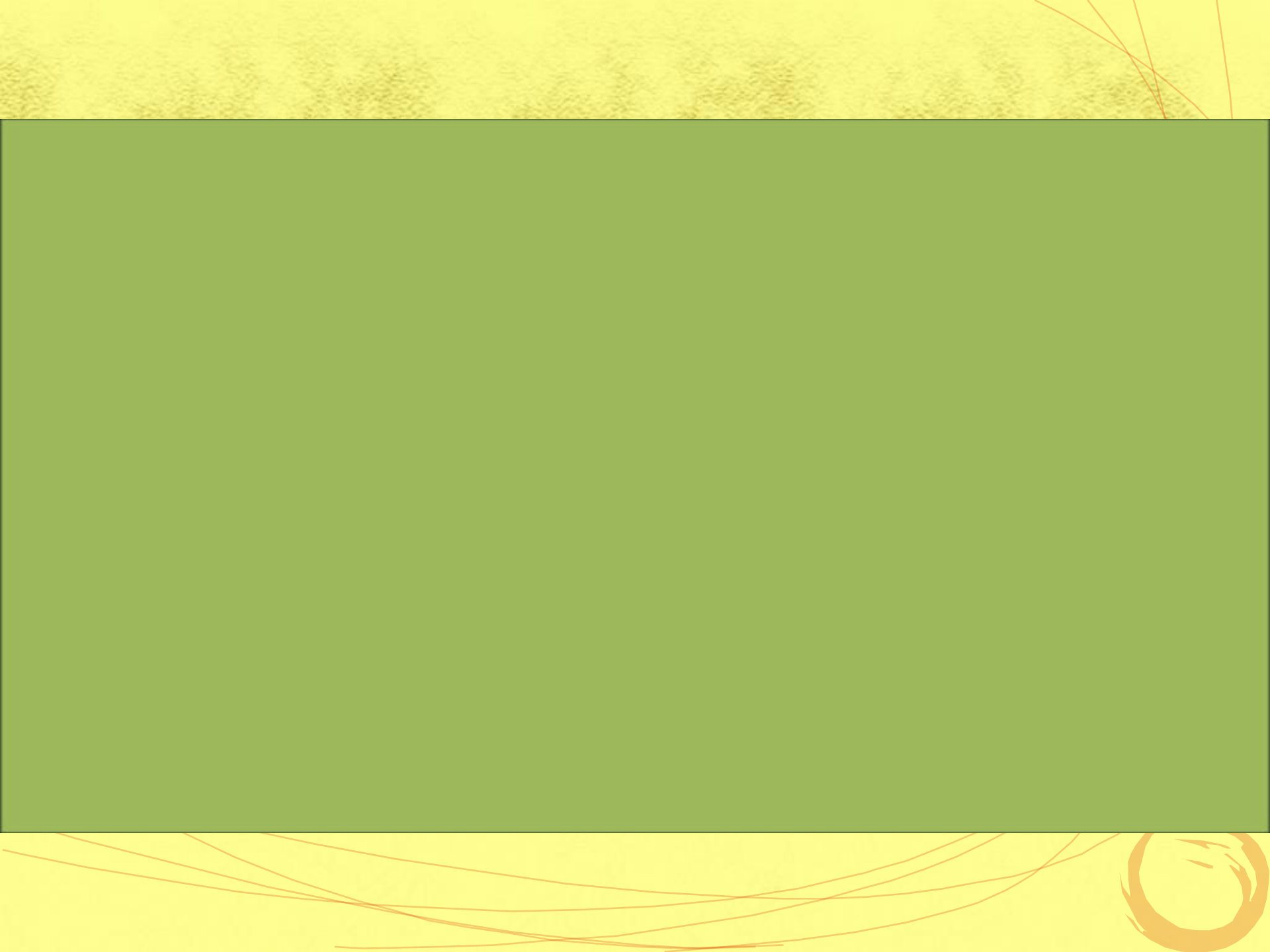
「この通りだわ」

「よく書いてくれたありがとう！」

ご家族様

「姉の想いがよく現れていて、
とても感激した」

「他の兄弟にも読ませたい」



<B様自分史>

『荒波に舟を漕ぐ
— 明るく前向きに生きていく—』

- 第一章 門別村の思い出
- 第二章 大切なラジオ
- 第三章 大きな決心
- 第四章 出会いと離別
- 第五章 メニエール病
- 第六章 再開
- 第七章 恵明園での生活

ご本人様

「とても良く書けている！」

ご家族様からの了承もいただく



はじめの予定では・・・



A様「点字にしてほしい」

B様「テープにしてほしい」



まとめに

【自分史を通して】

ご利用者様それぞれの**根幹にあるもの**を知り、
心の中の傷に気づくようになった

これからもご利用者様を深く知り、
より良いサービスの提供を目指していく



御清聴ありがとうございます



北海道友愛福祉会

江別盲人養護老人ホーム 恵明園